

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 私立幼稚園就園奨励費補助金
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを生み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	4	経済的負担の軽減の支援
主要な施策	1	医療費、保育料、教育費等の支援
事務事業番号	003	事務事業コード 11141003 事業開始年度 昭和 4 7 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	私立幼稚園就園奨励費補助金
------	------	------------	---------------

部 名	保健福祉部	グループ名	子育てG
-----	-------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> <p>私立幼稚園に通園する園児の保護者に対し、保育料・入園料の一部を補助することで経済的負担の軽減や幼稚園教育の充実を図る。</p>
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> <p>私立幼稚園経由で保護者より申請書を提出してもらい、内容を審査のうえ園設置者に交付決定を行う。その後、園が保護者に対し補助金を交付する。(補助金の額は、住民税額及び同一世帯の園児数に基づく。)</p> <p>交付対象園児数 599人(市内4園:515人、市外10園:84人) 補助金交付額 57,249,000円(市内4園:49,527,400円、市外10園:7,721,600円)</p>
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> <p>私立幼稚園への入園料及び保育料を納入する保護者に対し、経済的負担の軽減を図る。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> <p>・登別市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則(補助基準等は、国の「幼稚園就園奨励費補助金交付要綱」による。)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	補助金交付対象園児数	人	目標値	610	605	624	624	624
			実績値	599	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称 幼稚園就園奨励費補助金	千円	13,020	14,137	22,930	22,930	22,930	68,790
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	44,229	46,453	45,861	45,861	45,861	137,583
合 計			57,249	60,590	68,791	68,791	68,791	206,373
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	514	528			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		514	528			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本事業は国庫補助事業であり、幼稚園振興の施策には欠かせない。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 本事業の目的である、保護者に対する経済的負担の軽減という点に着目すれば、成果があがっていると考えられる。(成果指標は、目的に対する数値化が困難なため、交付対象園児数を使用している。)
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 事業の継続実施により、保護者に対して経済的負担の軽減を図るとともに、幼稚園教育の振興に資することができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト(予算や人工、所要時間)を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 国の補助基準により実施しているため、事業費の削減は難しい。また、事業費の削減は、成果の低下を意味する。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	本事業は、国の補助事業(補助率3分の1)であり、保護者の経済的負担の軽減や幼稚園教育の振興の観点から、引き続き、必要な事業と考える。
-----------	----------------------	--

総合的な評価(当該事務事業の方向性)

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大(事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業)
- 維持(現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業)
- 改善(現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業)
- 休止(暫定的に休止する事務事業)
- 終了(当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業)
- 廃止(当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業)